

公益財団法人 川崎市文化財団 情報誌 ● かわさき・アートニュース

KAWASAKI ART NEWS

2016.8

Vol.242



THE KAWASAKI FOUNDATION



CONTENTS [目次]

02 特集

文化への想いを
バトンタッチ

対談: 北條秀衛 前理事長
多田昭彦 新理事長

04 音楽

ミュゼ川崎
シンフォニーホール

07 歴史・文化

東海道かわさき宿交流館

10 美術

市内ギャラリー情報

13 演劇

アルテリオ小劇場

14 映画

アルテリオ映像館



撮影: 前島写真店 前島吉裕

文化への想いを バトンタッチ

対談：北條秀衛前理事長・多田昭彦新理事長

多田 昭彦

北條 秀衛

公益財団法人川崎市文化財団は、川崎市の出資により設立され、市民の皆さまの文化活動を支援するため、音楽、演劇、能狂言、落語、映画等の多様な文化事業を企画・実施するとともに、七つの文化施設を管理運営しています。

これらの業務に手腕を発揮するとともに、新しい文化事業を創設するなど、川崎の文化芸術の発展に精力的に取り組んだ北條秀衛前理事長が任期満了を迎え、新理事長に今年3月まで麻生区長を務めた多田昭彦氏が就任しました。

新・旧理事長に当財団の歩んできた道のりと未来、文化にかける想いについて語ってもらいました。

文化発展のため奔走した日々

——まずは今のお気持ちをお聞かせください。

北條 文化財団は外から見ると大変華やかで楽しそうな職場にみえますけれども、実際は施設や人員の管理、事業企画、財政問題など、大変な仕事が多岐に亘ってあります。副理事長として4年、理事長として5年やってきて、その間は365日ずっと様々な事業のことを考えていました。チケットの売れ行きや、企画、出演者についてなど、いろいろなことが頭を駆け巡り、常に緊張感がありましたので、責任者でなくなるということで少しほっとする気持ちもあります。

これまで、川崎の文化のイメージを一步でも高めようと奔走してきました。他方面からも「川崎の文化も変わってきたね」ということを少しだけ言われるようになり、川崎が住みやすく、働きやすい、そして文化もあるという街になっていくための一助となれたのかなと思います。その路線で新理事長には、新しいリーダーシップを発揮してもらいたいというのが、今の心境です。

多田 前理事長は大変パワーがある人ですので、その後を引継ぐことの重みを感じています。1985年に設立された文化財団は、2003年にミュージアム川崎シンフォニーホールの指定管理の第1期目を指定されたところから、本当に大きく変わってきたと思います。様々な事業に取り組んできて、そのことが実を結び、今ではミュージアムが全国のトップ15のホールに指定されるなど、大きく発展をしてきました。前理事長が大変なリーダーシップで牽引されてきたこの流れを停滞することなく、務められたらいいなという風に今思っています。

——これまでにお二人に接点はあったのでしょうか。

北條 新理事長のことは市役所に入ったところから知っており、かれこれ40年近くの付き合いになります。途中、様々な場面で一緒に仕事をし、ともに歩んできて、私にとっては気心の知れた弟分という感じです。

私が文化財団に入ってから、その時々で協力をお願いし、その度

に心よく力を貸してくれました。特に、新理事長はこの春まで麻生区長でしたから、麻生区で私が心血を注いでいる「アルテリッカ(川崎・しんゆり芸術祭)」という事業に大変大きな協力をしてもらいましたし、実行委員としてもこの3年間一緒に仕事をしてきました。

多田 北條さんからアルテリッカについてのお話がありましたけれども、他の場面でも多くの面でご指導いただいたことが仕事にも役立ち、大変感謝をしている先輩の一人です。

まちづくりを推進する芸術祭

——お二人の接点である「アルテリッカ」についてお聞かせください。

北條 アルテリッカは今年で8年目になりました。

新百合ヶ丘に「川崎市アートセンター」をオープンすると同時期に、昭和音楽大学が厚木から本校舎を移転してきて、日本映画学校も近い将来、映画大学になろうという計画がありました。それらの施設が一気に花開くために、大きなイベントをやろうという話が生まれ、アルテリッカがスタートしました。

これまで地域のいろいろな方々に応援していただき、大勢の市民がボランティアとして参加して下さっています。今年は延べ約1500人が期間中、多くの場面で活躍してくれました。2年後の10回目には、私の夢である日本中に知れわたるような芸術祭に昇華できればと思っています。

新理事長は麻生区に3年間勤めていましたから、地元を熟知し、地の利、人の和があります。これで天の時があれば、アルテリッカはますます盛大になっていき、ひいては川崎市全体がレベルアップするだろうと思います。

多田 小田急線に新百合ヶ丘駅が開設されたのが今から42年前。当時、駅周辺は何もありませんでしたが、新しいまちづくりのなかの「芸術や文化、環境を生かす」というコンセプトに沿って麻生区は、大きく発展し、人口も増えました。

駅周辺に九つのホールが揃うという環境ができて、「これらの施設を活用し、麻生区に多く住む芸術文化関係の方々の力を集めて、芸術のまちづくりをしよう」ということで、ハード面に色付けしていただいたのがアルテリッカだと思っています。佐藤忠男実行委員長をはじめ関係者の皆様のおかげで、今では他に類をみないほど多くのジャンルが融合したすばらしいイベントに発展してきました。今年は33演目のうち25演目を観ましたけれども、本当にそれぞれに魅力があって楽しかったですし、会場の内外でボランティアの方が活躍していて、芸術のまちづくりが定着しつつあると実感しました。10年目に向けてしっかり続けていかなくてはと思っています。

北條 私はアルテリッカが始まって8年、恐らく9割以上の公演を観てきました。なぜかという、こういうものは人の和が大事なのですね。たとえ一言でも「今日は出演ありがとうございます、ご苦労様です」と声をかけるため、必ず出演者の楽屋に足を運びます。おかげ様で、幅



「川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカ)」
大勢のボランティアに支えられる地域密着型芸術祭。

広い分野の人脈が出来つつあります。そして、出演者や関係者の人たちもこの川崎の面白い祭りに期待して下さり、相乗効果が図れるようになってきました。

新理事長には、この人脈を引き継いでいくのと同時に、新しい人脈も築いていただき、次のオリンピックのころに活躍できるような若い世代と一緒に文化を育ててほしいと思います。

多種多彩な事業

——文化財団には他にどんな仕事があるのでしょうか。

北條 当初から市にお願いされてやっている「川崎能楽堂」「アートガーデンかわさき」のほかに、「新百合トウェンティワンホール」「ラゾーナ川崎プラザソル」、それに指定管理者として「ミュージア川崎シンフォニーホール」「川崎市アートセンター」「東海道かわさき宿交流館」、以上七つの施設を管理運営しています。

現在の文化財団は、発足当初に比べ約10倍の所帯に膨れ上がりました。あらゆるジャンルの事業を展開しており、年間の事業数は300近くに上ります。

日常的な催しのほかに、春のアルテリッカ、夏のフェスタサマーミュージア、秋のかわさきジャズがあります。それぞれが一事業一億円を越すような規模になってきていますし、一昨年には40年近く続いた川崎大師薪能を復活させました。これらの事業に対する市民の皆さんの期待も大きくなっていますし、川崎市のイメージアップも図られているだろうと思います。

余談ですが、総務省が行う消費動向調査で、音楽や演劇などの文化に市民一人が消費する額は、全国で川崎市が一位だという結果が出ました。それだけ多くの催しが行われ、市民が沢山いろいろなものを見たり聴いたりしているということだろうと思います。その中で、多彩な職員たちがそれぞれ努力しながら、川崎の文化のために日々励んでいるというのが、今の文化財団の状況です。

——これまでに一番苦労されたことについてお聞かせください。

北條 ミューザの指定管理を始めて以来、文化財団の役目は大きく変わりました。限られた予算があり、それをいかに使うかという行政体質から、予算を何倍にして使うかという半分民間の体質に転換し、利用料金制そのものが財団のすべてになりました。その利用料金制を定着させることに一番熱心だったのが、私の前任の寺尾嘉剛理事長で、私の最大の恩人です。民間出身の寺尾さんの感覚が、今の文化財団を良くしていると思います。

三者が一体となって進める文化

——文化財団の理事長として引継ぎたいと思っていることをお聞かせください。

北條 私がやってきた中で最も記憶に残るのは、東日本大震災でミュージアの天井が崩落したことです。おそらくこの近辺で最も大きな



「フェスタサマーミュージアKAWASAKI」家族みんなで楽しめる、都市型音楽祭。



「かわさきジャズ」あらゆる人々が音楽を通じてコラボレーションするジャズフェスティバル。

被害だったと思いますけれども、一人の怪我人も出なかったことが非常に幸運でした。そのことが今の川崎の文化の隆盛につながったと思います。

川崎の文化の風土は、市民とともに培ってきました。その力強い文化の伝統と、この街に暮らす人々の想いを、ぜひ引き継いでいただきたいと思います。

それから、文化が生活の一部にあることで、住んでいて良かったと思えるような街づくりに貢献すること。経済、福祉、環境は重要ですが、文化もその中に入るだろうと私は思っています。

そして、これから川崎の文化施設が日本に冠たる施設に成長していくように、高い理想と目標を持って、そこに係る職員が一致団結して邁進できるような環境をつくり、人材育成を行ってほしいと思います。

実演の人、我々のような繋げる人、それを支える市民、この三者が一体となって進む。そういう川崎の文化が、今ようやく目覚めてきました。この進み方は文化の理想だろうと私は思っています。大変でしょうけれども、一つ一つの事業の芸術性を高め、作った人も見た人もみんなが感動できて達成感につながるような、良いサイクルをつくってほしいと思います。

多田 北條さんご自身が文化財団に在籍中の9年間、文化に相当の時間とお金、すなわち人生をつぎ込んできました。そういう方がもつ力は凄いと思います。

広い分野の方々の信頼を得るようになり、求心力が高まってきたのがここ数年の文化財団だと思います。それらを引継ぎ、さらに広げるためには予算も必要ですが、限りある施設のなかで工夫しながらマンパワーが連携すること、求心力を求められる立場にある私たち職員が、しっかり応えていけるような力量と意識を持つこと、それらを並行してやっていくことが今後の発展につながるのではないかと思います。

人の輪をつなげていく

——最後に、前理事長の今後についてお聞かせください。

北條 役職は離れましたけれども、文化財団にこうして長く務めさせていただいて、仕事で多くの知り合いが増え、みなさんが川崎に熱い眼差しを送ってくださっています。

川崎のいろいろな人々たちを相互につなぎ、コーディネートしていくのが私の新しい任務だと思います。人と人が交わるのは大変面白いことですので、ライフワークとしてやっていきたいと思っています。

最後に、私がこれまで元気にやってこられたのは、市民、実演者等の多くの方々の支えがあったことです。厚く御礼申し上げます。また、文化施設の職員とりわけ財団本部の職員の方々には、大変お世話になりました。今後も新理事長のもと、一致団結して川崎の文化のため頑張ってください。ありがとうございました。

北條 秀衛(Hidee Hojo)

昭和44年川崎市役所入庁、社会教育主事。教育委員会文化課長。総合企画局臨海部整備推進室長。総合企画局長。川崎市教育長。
川崎市文化財団副理事長、同財団理事長。
川崎・しんゆり芸術祭事務局長。その後、川崎・しんゆり芸術祭副実行委員長。川崎市岡本太郎美術館館長。
趣味は農作業、うどん打ち。

多田 昭彦(Akihiko Tada)

川崎市幸区生まれ。昭和54年川崎市役所入庁。市教育委員会学校施設や市民館、図書館の整備計画、財源対策などに携わる。平成22年より経済労働局において労働行政全般と雇用創出、ものづくり技術の継承などに取り組む。平成25年より麻生区長。芸術・文化のまちづくり、農と環境をいかしたまちづくり、安全・安心のまちづくり等、区民と協同で進め、平成28年より川崎市文化財団理事長。

ミュージア川崎シンフォニーホールのお薦め公演

申込み・お問合せ◎ミュージア川崎シンフォニーホール ☎044-520-0200

フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2016

ヤング料金は
対象公演が半額に!

[ヤング]は小学生〜25歳以下の学生が対象です。

チャイコフスキー三大バレエ 洗足学園音楽大学

8月4日(木) 18:30開演

指揮:秋山和慶

管弦楽:洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団

バレエ:洗足学園音大バレエコース生、東京シティ・バレエ団、谷桃子バレエ団、牧阿佐美バレエ団

♪チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」から、「眠れる森の美女」から、「くるみ割り人形」から

S席1,200円(売切) A席800円



モーツァルトへのオマージュ 神奈川フィルハーモニー 管弦楽団

8月5日(金) 15:00開演

指揮:川瀬賢太郎

ヴァイオリン:崎谷直人(神奈川フィル第1コンサートマスター)

ヴィオラ:大島 亮(神奈川フィル首席ヴィオラ奏者)

ソプラノ:高橋 維

♪モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲

♪モーツァルト:ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 ほか

S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円 [ヤング]各席種半額



川瀬賢太郎

松居直美 パイプオルガン・ リサイタル 真夏のバッハ

8月6日(土) 18:00開演

パイプオルガン:松居直美

ソプラノ:森 麻季(ゲスト出演)

♪バッハ:トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

「目覚めよ、と我らに呼ばれる物見らの声」BWV645

♪バッハ/グノー:アヴェ・マリア ほか

全席指定 大人2,500円 ヤング1,000円



松居直美



森 麻季

オーケストラの醍醐味 バボラークの「英雄」 日本フィルハーモニー交響楽団

8月7日(日) 15:00開演

指揮:ラデク・バボラーク

ピアノ:仲道郁代

♪ウェーバー:歌劇「魔弾の射手」序曲

♪クーラウ:ピアノ協奏曲

♪ベートーヴェン:交響曲第3番「英雄」

S席4,000円(僅少) A席3,000円 B席2,000円 [ヤング]各席種半額



ラデク・バボラーク

生誕110年! ショスタコヴィチの「革命」 昭和音楽大学

8月9日(火) 18:30開演

指揮:海老原 光

♪ロッシニ:歌劇「泥棒かささぎ」序曲

♪ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲

♪ショスタコヴィチ:交響曲第5番「革命」

全席指定1,000円



海老原 光

ドイツ音楽の神髄! 飯守泰次郎のワグナー 東京シティ・フィルハーモニック 管弦楽団

8月10日(水) 19:00開演

指揮:飯守泰次郎

クラリネット:ペーター・シュミードル

♪ワグナー:歌劇「ローエングリン」

から第1幕への前奏曲

♪モーツァルト:クラリネット協奏曲

♪ワグナー:歌劇「タンホイザー」序曲 ほか

S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円 [ヤング]各席種半額



飯守泰次郎 ペーター・シュミードル

華麗! 豪快! 爽快! 東京交響楽団 フィナーレコンサート

8月11日(木・祝) 15:00開演

指揮:秋山和慶

トロンボーン:中川英二郎

♪バーンスタイン:「キャンディード」序曲

♪ナサニエル・シルクレット:トロンボーン協奏曲

♪ベートーヴェン:交響曲第7番

S席4,000円(僅少) A席3,000円 B席2,000円 [ヤング]各席種半額



秋山和慶

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集 第120回 若き精鋭ヴィオッティ渾身のプログラム

9月4日(日) 14:00開演(13:30開場) ⑥6,000円 ⑤5,000円 ④4,000円 ③3,000円

オペラ指揮者として有名な故マルチェロ・ヴィオッティを父に持ち、2015年ザルツブルク音楽祭指揮者コンクールで優勝するなど、将来が期待される若き精鋭がミューザに登場。

出演	プログラム
指揮: ロレンツォ・ヴィオッティ 管弦楽: 東京交響楽団	♪ ベートーヴェン: 交響曲 第4番 変ロ長調 作品60 ♪ R. シュトラウス: 歌劇「ばらの騎士」組曲 作品59, TrV 227 ♪ ラヴェル: ラ・ヴァルス



ロレンツォ・ヴィオッティ

モーツァルト・マチネ 第26回

9月11日(日) 11:00開演(10:30開場)

全席指定3,500円 学生1,000円(小学生から25歳以下の学生)

ヴァイオリンの魅力をたっぷり味わうことのできるヴァイオリン協奏曲第3番。そして、交響曲第39番はモーツァルト晩年にかかれた傑作といわれる「三大交響曲」の最初の作品。盟友である大友直人と大谷康子の息の合った演奏に乞うご期待。

出演	オール・モーツァルト・プログラム
指揮: 大友直人 ヴァイオリン: 大谷康子 管弦楽: 東京交響楽団	♪ ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 K.216 ♪ 交響曲 第39番 変ホ長調 K.543



大友直人



大谷康子 ©尾形正茂

MUZAスペシャル・ナイトコンサート90 キング・オブ・オルガン KANKAWA

9月30日(金) 19:00開演(18:30開場)

全席指定3,500円 学生券1,000円(小学生~25歳以下の学生)

19歳でアメリカへ渡り、ジャズオルガンの神、ジミー・スミスの薫陶を受けたKANKAWAはジャズオルガンの王道を歩む一方、パイプオルガンによるジャズライブを企画するなど革新性も併せ持つ。伝説的ジャズオルガン・プレイヤーと各界のスペシャリストたちによる、古くも新しいジャズの創造。

出演	プログラム
パイプオルガン、ハモンドB-3オルガン: KANKAWA トランペット: 類家心平 ドラムス: 本田珠也 テナーサックス&フルート: 竹内 直 【スペシャルゲスト】 ヴァイオリン: 小森谷 巧 ギター: 小沼ようすけ	♪ サマータイム ♪ サテンドール ♪ 朝日のあたる家 ♪ THE CAT ♪ アメージング・グレース ほか



KANKAWA



小森谷巧



小沼ようすけ

MUZAランチタイムコンサート8月 モーツァルトからドイツ・ロマン派へ

8月19日(金) 12:10開演(11:30開場) 全席自由 500円



武蔵野、ニュルンベルク(独)などのオルガン・コンクールで優勝を果たし、ヨーロッパで活躍中の福本茉莉がバロック以降のオルガンの魅力をお届けします!

福本茉莉

出演	プログラム
オルガン: 福本茉莉 ヴァイオリン: 須賀麻里江 堀内由紀 コントラバス: 菅間周子	♪ モーツァルト: 教会ソナタ第15番 ハ長調 K.328 ♪ モーツァルト: 教会ソナタ第17番 ハ長調 K.336 ♪ リンク: フルート協奏曲 ヘ長調(オルガン版)

MUZAランチタイムコンサート9月 秋はモダン・ベース王者

9月15日(木) 12:10開演(11:30開場) 全席自由 500円



藤原清登

1974年に渡米し、パークリーとジュリアード両音楽院で学んだ本格派ベーシスト・藤原清登。海外を中心にジャズとクラシックの垣根を超えて活躍し、“モダンベースの王者”“低音王”の異名を取った壮絶プレイは見逃せません。

出演	プログラム
藤原清登トリオ ダブルベース: 藤原清登 ピアノ: 今村真一朗 ドラムス: 富川政嗣	♪ These boots are made for walkin' ♪ 鳥の歌 ♪ アランフェス協奏曲 ♪ 異邦人 ほか

主催公演 2 火 15:00
こどもフェスタ2016
ヤング・パワー全開!

かわさきジュニアオーケストラ発表会

指揮:江上孝則 ヴァイオリン:石黒響平(ジュニアオーケストラ選抜メンバー・中学3年生) 司会:山田美也子
ウェーバー:歌劇「魔弾の射手」序曲 / ウェーバー(ペルリオーズ編):舞踏への勧誘 ほか

主催公演 4 木 18:30
フェスタサマーミュージックFESTASAKI 2016
チャイコフスキー三大バレエ

洗足学園音楽大学

指揮:秋山和慶 管弦楽:洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団
バレエ:東京シティ・バレエ団、谷桃子バレエ団、牧阿佐美バレエ団、洗足学園音楽大学バレエコース生
チャイコフスキー:バレエ音楽「くるみ割り人形」から(牧阿佐美バレエ団クラス) / 「白鳥の湖」から(東京シティ・バレエ団 グローバルクラス) / 「眠れる森の美女」から(谷桃子バレエ団クラス)

主催公演 5 金 15:00
フェスタサマーミュージックFESTASAKI 2016
モーツァルトへのオマージュ

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

指揮:川瀬賢太郎 ヴァイオリン:崎谷直人(神奈川フィル第1コンサートマスター) ヴィオラ:大島 亮(神奈川フィル首席ヴィオラ奏者)
ソプラノ:高橋 維 モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲 / R.シュトラウス:歌劇「ばらの騎士」組曲 ほか

11:00～公開リハーサル

主催公演 6 土 11:00
こどもフェスタ2016
舞台上にあって
ピアノの迫力を体感しよう

イツ・ア・ピアノワールド

ピアノ:小川典子 ショパン:バラード第1番
リスト:ラ・カンパネラ ほか

主催公演 18:00
フェスタサマーミュージックFESTASAKI 2016
～真夏のパッハ～

松居直美パイプオルガン・リサイタル

オルガン:松居直美 ソプラノ:森 麻季 17:20～17:40
J.S.パッハ/グノー:アヴェ・マリア ほか

主催公演 7 日 15:00
フェスタサマーミュージックFESTASAKI 2016
オーケストラの醍醐味
パボラークの「英雄」

日本フィルハーモニー交響楽団

指揮:ラデク・パボラーク ピアノ:仲道郁代
ウェーバー:歌劇「魔弾の射手」序曲 / クラウ:ピアノ協奏曲 ほか

11:30～
公開リハーサル

同日開催 15:00 出張サマーミュージック@しんゆり!
東京交響楽団 会場:昭和音楽大学
テアトロ・ジリオ・ショウワ

主催公演 9 火 18:30
フェスタサマーミュージックFESTASAKI 2016
生誕110年
ショスタコーヴィチの「革命」

昭和音楽大学

指揮:海老原 光
ロッシニ:歌劇「泥棒かささぎ」序曲 / プラムス:ハイドンの主題による変奏曲 / ショスタコーヴィチ:交響曲第5番「革命」

主催公演 10 水 19:00
フェスタサマーミュージックFESTASAKI 2016
ドイツ音楽の神髄!
飯守泰次郎のワーグナー

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

指揮:飯守泰次郎 クラリネット:ペーター・シュミードル
ワーグナー:歌劇「ローエングリン」から 第1幕への前奏曲 / モーツァルト:クラリネット協奏曲 イ長調 ほか

15:00～
公開リハーサル

主催公演 11 木・祝 15:00
フェスタサマーミュージックFESTASAKI 2016
華麗!豪快!爽快!

東京交響楽団フィナーレコンサート

指揮:秋山和慶 トロンボーン:中川英二郎
バーンスタイン:「キャンディード」序曲 / ナサニエル・シルクレット:トロンボーン協奏曲 / ベートーヴェン:交響曲第7番

11:30～
公開リハーサル

12 金 18:00

第36回全日本医科学生オーケストラフェスティバル

指揮:広上淳一 管弦楽:全日本医科学生オーケストラ
ウォルトン:スピットファイアより前奏曲とフーガ / リムスキー=コルサコフ:スペイン奇想曲 / ショスタコーヴィチ:交響曲第8番

お問合せ:080-5208-7269(盛)

13 土 17:30

クレシェンド 第20回 ハンドベル定期演奏会ファイナルコンサート

指揮:太田和男 ハンドベル:クレシェンド
ヘンデル:パッサカリア / ムソルグスキー:キエフの大門 / クロード=ミシェル・シェンベルク:「レ・ミゼラブル」メドレー ほか

お問合せ:045-774-0215(太田)

14 日 13:30

TBSK管弦楽団 第6回 定期演奏会

指揮:久世武志
ホルスト:「惑星」より抜粋 / エルガー:海の絵 / エルガー:交響曲第1番

お問合せ:TBSK管弦楽団執行部
080-3497-7895(代表者 岸本忠直)

主催公演 19 金 12:10

MUZAランチタイムコンサート 8月

モーツァルトからドイツ・ロマン派へ

パイプオルガン:福本茉莉 ヴァイオリン:須賀麻里江、堀内由紀 コントラバス:菅間周子
モーツァルト:教会ソナタ第15番 長調 K.328 / モーツァルト:教会ソナタ第17番 長調 K.336 / リンク:フルート協奏曲 長調(オルガン版)

ワークショップ
15:00～16:00
小学3～4年生
向き・先着15名

20 土 13:00

MIN-ON スペシャルコンサート

シエナ・ウィンド・オーケストラ 迫力のサウンド!名曲のオンパレード!

指揮:中村睦郎
ウィリアムズ:「スター・ウォーズ」より「メイン・タイトル」 / 「ハリー・ポッターと賢者の石」より / ロジャース:「サウンド・オブ・ミュージック」より「私のお気に入り」 ほか

お問合せ:MIN-ONインフォメーション
センター 03-3226-9999

21 日 13:30

音楽會

指揮:高橋敦 管弦楽:ジャパンフレンドシップフィルハーモニック
リスト:交響詩「前奏曲」 / パルトーク:「中国の不思議な役人」組曲 / シベリウス:交響曲第2番 二長調 作品43 / ロッシニ:「ウィリアム・テル」序曲 ほか

お問合せ:JFP事務局 080-1037-8826

27 土 13:30

アプリコシンフォニーオーケストラ第27回定期演奏会

指揮:田部井 剛
ホルスト:組曲「惑星」 / エルガー:「威風堂々」第1番

お問合せ:アプリコシンフォニーオーケストラ
080-6765-2342 apriweb@yahoo.co.jp

主催公演 28 日 14:00

ミューザ川崎市民交響楽祭2016

指揮:松元宏康 チェロ:水谷川 優子 オルガン:新山恵理 管弦楽:かわさき市民オーケストラ2016
ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 / サン=サーンス:交響曲第3番 オルガン付 ほか

お問合せ:川崎市民交響楽団 080-1275-1056
(18:00-21:00)

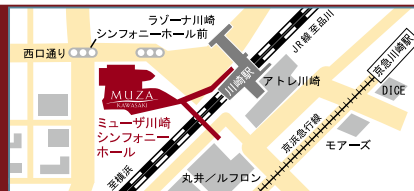
お問い合わせ:ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター

Tel. **044-520-0200** (10:00-18:00)

ミューザ川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅西口直結

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL





東海道 かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



江戸時代の粋に遊ぶ その21 「紙切り」

日時:8月27日(土) 14時から(13時30分開場)

料金:1,500円(税込) 定員:先着80名(自由席) 会場:東海道かわさき宿交流館 4階集会室

出演:林家花

紙切りとは、寄席色物(曲芸、漫才、マジック、ものまねなど)の一つ。
一枚の紙をお客さんの注文通りに切り抜くもので、三味線や太鼓などの曲に合わせながらハサミを動かして一つの絵を仕上げます。

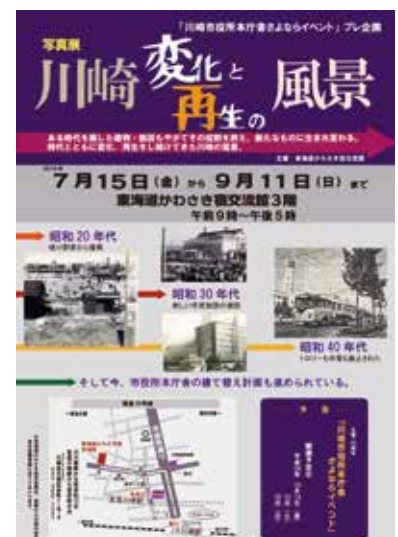


写真展 「川崎市役所本庁舎さよならイベント」プレ企画 川崎 変化と再生の風景

日時:7月15日(金)~9月11日(日) 9:00~17:00

料金:無料 会場:東海道かわさき宿交流館 3階企画展示室

「ある時代を画した建物・施設もやがてその役割を終え、新たなものに生まれ変わる。時代とともに変化、再生をし続けてきた川崎の風景」を写真で紹介します。



川研写真展



川崎写真研究会による第46回「川研写真展」が開催されました。同会は、川崎市主催の成人学校を母体として昭和32年に発足した写真愛好家のグループです。今回は会員16名による作品、計48点が会場に並びました。

講師をつとめる中澄一之さんが撮影した、北米大陸「地球創生の大地」をはじめ、祭りの様子や、川崎大師瀋秀園に咲く花、長野県鎌池の巨木、ベトナムハロン湾の洞窟など、会員の方々が国内外で捉えた美しい瞬間が空間を飾っていました。

(6月21日～26日 アートガーデンかわさき)

ラゾーナ寄席

毎月第三火曜に開催しているラゾーナ寄席。6月の寄席は、古今亭今いちさんによる『手紙は笑う』で始まり、春風亭柳若さんによる『殿様団子』で盛り上がり仲入に。

出演者の司会で進行する楽しい抽選会に続いて、桂米多朗師匠による『芋俵』。俵にかくれた愉快な泥棒たちの描写に、会場から笑いがこぼれます。トリは三遊亭右左喜師匠による『ラーメン屋』。子どものいない老夫婦が営むラーメン屋に身寄りのない若者が来店し、三人の交流がはじまります。初めて「おとっつあん、おかっつあん」と呼んでもらった老夫婦の喜びが心に染みわたる、見事な人情話でした。

(6月21日 ラゾーナ川崎プラザソル)



終演後のおたのしみ・囃子参加の交流会

オカリナ体験ワークショップ

MUZAランチタイムコンサート「オカリナで聴くあの名曲」のあと、出演された

茨木智博さんによるオカリナ体験ワークショップが行われました。公募により集まった30名のみなさんは、初心者から経験者までさまざま。年齢別に分かれてレッスンが行われました。クラスごとに「メリーさんのひつじ」「チューリップ」「キラキラ星」を演奏したあと、最後は参加者全員で「カエルの歌」を合奏。オカリナの優しい音色がミュージアムに響きました。

(5月24日 ミューザ川崎シンフォニーホール)



交流館お屋の落語

若手落語家を激励し、精進を応援する落語会、「前座・二ツ目激励 交流館お屋の落語」という新たなイベント(無料)を開催しました。第1回目の催しでしたので、この日は特別に初音家左橋師匠をお呼びし、芸を披露して頂きました。前座は金原亭小駒さんでした。どれぐらい来るだろうと心配しておりましたが、開場30分前から大勢のお客様たちが…!ありがとうございました。

今回は、9月28日(水)14時からです。前座に柳家小はぜさん、二ツ目に三遊亭時松さん。どうぞお楽しみに!

(5月25日 東海道かわさき宿交流館)



しんゆりジャズスクエア

隔月で開催されているジャズスクエアも今年で5年目を迎えました。シリーズ23回目の6月公演は「ひばりが唄った Jazz&Standards」と題し、美空ひばりさんが愛唱したジャズやスタンダードナンバーをお届けしました。松永明子さんをボーカルに迎え披露した曲は、「スターダスト」や「ラブ」といった名曲から「川の流れるように」や「お祭りマンボ」など美空ひばりメドレーも!アンコールの「真っ赤な太陽」では客席から手拍子が沸き起こり、ステージとお客さんが一体となりました。(6月3日 アルテリオ小劇場)



松永明子

韓国公演記念特別演奏会

川崎市と韓国・富川市の友好都市提携20周年に合わせて訪韓し、文化交流をする「テアトロ・ジリオ・ショウワ・オーケストラ」が、韓国公演を記念した演奏会を開催しました。第一部ではオーケストラの演奏に合わせ、韓国から招かれた歌手たちと日本の歌手たちが独唱を披露しました。アンコールでは歌手全員が再登場して「乾杯の歌」を歌い、ステージ上で手をつなぎ観客の拍手にこたえました。

第二部では総勢280名の合唱団が加わり、ベートーヴェンの「交響曲第九番」を演奏。「われわれ人類は兄弟になる!」と高らかな歌声を響かせました。

(6月18日 ミューザ川崎シンフォニーホール)



インフォメーション

公益財団法人川崎市文化財団の公式ホームページをリニューアルしました!

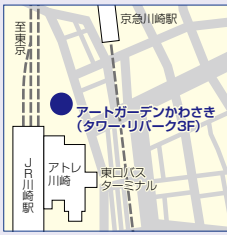
メニューもデザインも一新し、スマートフォンやタブレットにも対応。

これまで以上に見やすく、わかりやすく、魅力的な文化情報を発信していきます。

<http://www.kbz.or.jp/>



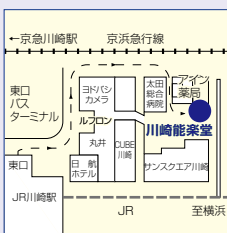
アートガーデンかわさき



貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩2分・京急川崎駅より徒歩2分

川崎能楽堂



貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩5分

ラゾーナ川崎プラザソル



貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151
<http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩5分

新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<http://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分

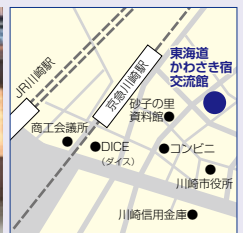
ミュージア川崎シンフォニーホール



貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分

東海道かわさき宿交流館



貸館案内 4階の集会室・談話室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が可能です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】京急川崎駅より徒歩4分、JR川崎駅東口より徒歩9分

川崎市アートセンター



貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

公益財団法人 川崎市文化財団

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク3F TEL.044-222-8821 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/>

アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 〻 = 休館日

2016.8

2016.8		1 Mon	2 Tue	3 Wed	4 Thu	5 Fri	6 Sat	7 Sun	8 Mon	9 Tue	10 Wed	11 Thu	12 Fri	13 Sat	14 Sun	15 Mon	16 Tue	17 Wed	18 Thu	19 Fri	20 Sat	21 Sun	22 Mon	23 Tue	24 Wed	25 Thu	26 Fri	27 Sat	28 Sun	29 Mon	30 Tue	31 Wed		
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日		第1展示室																																
		第2展示室										国藝書道院展 8月9日(火)～13日(土)						かわさき平和美術展 8月16日(火)～21日(日)								第63回 日本ジュニア展 8月24日(水)～28日(日)								
		第3展示室																																
ギャラリードナウ(川崎区) 川崎区日ノ出2-1-20 TEL. 288-4018 【休館日】木・金曜日																																		
幸市民館市民ギャラリー(幸区) 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		図書館臨時観覧席 8月1日(月)～31日(水)※15日休館																																
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		川崎市立橘高等学校漫画研究部 夏季イラスト展 ～3日(水)				第38回 硯友会書展 8月5日(金)～10日(水)																玉川陶芸クラブ 陶芸展 8月19日(金)～24日(水)								SYKフォトクラブ フォトギャラリー 8月26日(金)～31日(水)				
川崎市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		企画展		『描く!』マンガ展 ～9月25日(日) 観覧料：一般800円、65歳以上・大学生・高校生600円、中学生以下無料																														
				&(アンバサンド)がカタチをひらくとき 8月4日(木)～9月25日(日) 観覧料：一般300円、65歳以上・大学生・高校生200円、中学生以下無料																														
				昔のくらしと道具2016 8月6日(土)～10月16日(日)																														
博物館 展示室		「近代・現代」特集展示「はじめての選挙」 ～19日(金)																																
		「近代・現代」特集展示「伝染病と地域政治」 8月20日(土)～11月18日(金)																									マンスリー展示「江戸時代の宮内村」 8月27日(土)～9月30日(金)							
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		水曜絵画サークル 作品展 ～3日(水)				日本水彩画会神奈川支部小品展 8月5日(金)～10日(水)								水彩画グループ「木曜会」発表会 8月12日(金)～16日(火)※15日休館				彩美会水彩画展 8月19日(金)～24日(水)								日本画 萌の会 8月26日(金)～31日(水)								
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		宮前みずえ会 作品展 ～3日(水)				宮前区障害者施設作業所連絡会作品展 8月5日(金)～10日(水)								宮前まなびの会 市民が考える平和人権学習 30周年～戦後70年から未来へ 8月12日(金)～17日(水)※15日休館				夏休み子ども あそびランド2016 8月21日(日)								色鉛筆のつどい作品展 8月26日(金)～31日(水)								
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		アトリエ・アート・ベラ 絵画展 ～3日(水)																																
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区桁形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		企画展		企画展「鉄道美術館」The Railway Art Museum展 ～10月10日(月・祝)																														
		常設展		常設展「岡本太郎ー主題と文脈」展 ～10月10日(月・祝)																														
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		木鳥と焼絵の会 作品展 ～3日(水)																								玉美会絵画作品展 8月26日(金)～31日(水)								



©さいとう・たかを
©KIYOHICO AZUMA/
YOTUBA SUTAZIO



山口晃 地下鐵道之圖

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展

『描く!』マンガ展

～名作を生む画技に迫る― 描線・コマ・キャラ～
7月23日(土)～9月25日(日)

観覧料: 一般800円
65歳以上・大学生・高校生600円
中学生以下無料

「描く」「人に見せる」「たのしみ」という、マンガの本質的な営為に着目し、優れたマンガ家たちの卓越した作画技術を紹介するとともに、戦後から現在までの時代背景さまざまな視点から見つめ直します。

出品作家(50音順):

[第1章] 赤塚不二夫、石ノ森章太郎、手塚治虫、藤子不二雄[Ⓐ]、水野英子
[第2章] あずまきよひこ、さいとう・たかを、島本和彦、竹宮恵子、平野耕太、PEACH-PIT、陸奥A子、諸星大二郎

ファンバサド

&がカタチをひろくとき

8月4日(木)～9月25日(日)

観覧料: 一般300円、65歳以上・大学生・高校生200円、中学生以下無料

本展では、今日、芸術が純粋に「私」を表現したものとしてではなく、「私」以外の他者や場所、時間といった取り巻く現実との関係性によって生み出されるものへと変容してきたことに注目し、その潮流を色濃く映し出す6人の若手作家を紹介します。

会期中は、作家を講師としたワークショップやイベントを多数開催します。

出品作家(50音順):

アベキヒロカズ、大原崇嘉、木戸龍介、桑田恵里、ぬQ、柳川智之



©さいとう・たかを
©KIYOHICO AZUMA/
YOTUBA SUTAZIO

昔のくらしと道具2016

8月6日(土)～10月16日(日)

日常生活に欠かせない衣食住にかかわる道具を中心に、昔の生活用具類を展示し、それらの道具のうつりかわりから人々のくらしの変化についてご紹介いたします。

昔の生活空間の再現として囲炉裏や茶の間の再現模型、実際に昔の道具を体験できるコーナーも合わせて設置。また、特集展示として「わが家に“家電”がやってきた」を合わせて開催します。



蚊やり豚(昭和時代)



扇風機(昭和初期)

博物館展示

観覧料: 無料

川崎の考古・歴史・民俗について通史で展示

■「近代・現代」特集展示

「はじめての選挙」 開催中～8月19日(金)

当館所蔵の資料から、明治初期の川崎地域での地域政治の様子を紹介。

「伝染病と地域政治」

8月20日(土)～11月18日(金)

コレラやペストなど様々な伝染病が流行した明治時代の、川崎地域における被害や対応の様子を所蔵資料からふり返ります。



痘苗請求者ノ心得(明治時代)

■マンスリー展示

「夏休み子どもマンスリー

新聞のうつりかわり」

7月30日(土)～8月26日(金)

江戸時代から現代までの新聞のうつりかわりを展示します。



蒸気船之図(江戸時代末期)

「江戸時代の宮内村」

8月27日(土)～9月30日(金)

この他にも上映・講座・イベント情報をホームページにてご案内しています。

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅ノクティ側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)、8/12(金)
http://www.kawasaki-museum.jp/

●ホームページ、Twitter、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



Twitter



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

常設展／開催中～10月10日(月・祝)

「岡本太郎ー主題と文脈」展

本展では、明治・大正・昭和・平成の四つの時代を駆け抜けた前衛芸術家・岡本太郎の作品を制作された文脈と共にご紹介し、その主題について考察いたします。



岡本太郎《青空》1954年
油性・キャンバス

企画展／7月16日(土)～10月10日(月・祝)

「鉄道美術館」展

The Railway Art Museum

本展は、機能から生まれる車両造形、街を繋いで広がる鉄道路線、緻密な運行システム、鉄道が織りなす街や自然の風景など、人々を魅了し続ける鉄道を美術の眼を通して楽しんでいただける展覧会です。



山口見 地下鐵道之圖

会場には、鉄道のテイストを作品に取り入れながら遊びの空間を創造する現代アーティストの作品や日本全国を駆け巡る列車の勇姿を映し出す映像上映、ミニSL乗車体験やワークショップなど遊びを通じて鉄道を楽しむイベントを開催、子どもから大人まで楽しんでいただける展覧会です。

一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下無料
＊カコ内は20名以上の団体料金

【インフォメーション】

「鉄道美術館」展 無料アプリ配信中!

開催中、岡本太郎美術館で開催する「鉄道美術館」展の公式アプリです。このアプリは「鉄道美術館」展の展示風景動画や出品作品、関連イベントの内容などを無料でダウンロードできます。一度ダウンロードすればどこでもお使いになれます。

また、SNSにも対応していますのでお気に入りの情報としてご家族や友人と情報を共有して下さい。

※「鉄道美術館」展の無料公式アプリは、App StoreまたはGoogle Playより「鉄道美術館」で検索して入手できます。また、美術館ホームページからも入手ができるようになります。

【関連イベント情報】

「第6回キッズTARO展 一きっず・てつどうびじゅつかん」

内容／生田緑地にある蒸気機関車D51とブルートレインをスケッチした作品を、美術館ギャラリーで展示公開します。

作品展示／8月6日(土)～8月26日(金)まで
料 金／無料

◆ミニ南武線乗車体験

内容／ミニ南武線に乗って館内を走るイベントです。

出 展／神奈川県立川崎工科高校
日 時／8月20日(土)、21日(日)
11:00～16:00

場 所／岡本太郎美術館ギャラリー
料 金／無料



【夏のイベント情報】

◆サマーナイトミュージアム

閉館後の夜の美術館を学芸員が御案内する、大人限定「サマーナイトミュージアム」を開催します。ご参加いただけるのは20歳以上の方のみ。人数限定、大人のためのツアーです。普段は決して入ることのできない、バックヤードにもご案内します。また、観覧の後は、カフェテリアTAROにてドリンクをお楽しみいただけます。

静かでゆっくりとした美術館の夜を楽しんでみませんか?

日 時／8月27日(土)、9月10日(土)
17時30分～20時

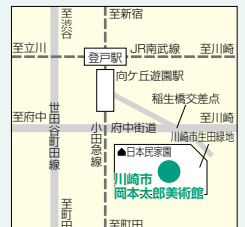
参 加 費／1,500円(観覧料、ドリンク含む)

応募方法／8月10日(水)

午前10時より電話受付(先着順)

定 員／各日 20名

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館締切16:30)
【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)、8/12(金)
http://www.taromuseum.jp



アルテリオ小劇場

しんゆりジャズスクエア vol. 24

夏休み親子で一緒に! 誰もが大好き! ジブリ・ジャズ

2016年8月12日(金) 17:00開演 ※開場は開演の30分前

スタジオジブリの曲をジャズアレンジでお聞かせします。夏休みのひととき、ご家族揃ってお楽しみ下さい!
 〈予定曲〉さんぽ(となりのトトロ)、ルージュの伝言(魔女の宅急便)、カントリーロード(耳をすませば) ほか



高橋奈保子 (Vo)



加納奈実 (sax)



廣瀬みちる (p)



田辺充邦 (g)



平山織絵 (Vc)

【出演者】高橋奈保子 (Vo)、加納奈実 (sax)、廣瀬みちる (p)、田辺充邦 (g)、平山織絵 (Vc)

【チケット】一般3,500円 / こども(4歳~小学生)1,500円 (全席自由・税込) ※3歳以下はひざ上1名無料

★サポーターズチケット★

「しんゆりジャズスクエア」をもっと大勢の方に楽しんで頂きたいと、セット券をご用意しました! ご家族や、ご友人とご一緒にぜひお越しください!

●2枚セット券 6,000円 ●4枚セット券 10,000円

※WEBでのお取り扱いはありません。

第43回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

2016年8月27日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】神田松鯉、桂米多朗、春風亭昇也、古今亭今いち

【チケット】一般 2,000円 / 学生 1,000円 (全席自由・税込)

★大旦那衆チケット、プレミアムチケット★

年間10回の開催を予定している「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券をご用意しました。お一人で毎月通うことも、ご友人とご一緒でも、ご自由にお使い頂けます。

●大旦那衆チケット: 10枚1組 12,000円 ●プレミアムチケット: 4枚1組 6,000円

※有効期限は2017年3月公演までとなります。払い戻しは致しません。※WEBでのお取り扱いはありません。



神田松鯉



桂米多朗

〈2016年度の予定〉9/24(土)、10/29(土)、11/26(土)、12/17(土)、1/28(土)、2/25(土)、3/25(土)

【お知らせ】仲入りでは演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。何が当たるかは参加してのお楽しみ!

チケット取扱い: 川崎市アートセンター

【窓口】9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く) [WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

【電話】044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

※ジャズスクエアの電話予約はマイタウンチケットセンターでのみお取り扱いしております。

044-954-9990(月~金、10:00~18:00)

貸館のご案内

アルテリオ小劇場では施設の貸出を行っております。演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態でご利用頂くことが可能です。基本形式193席の客席を有し、3室可動間仕切りの楽屋や工房(舞台の道具作成や楽屋代わりとしてもご利用可)もございます。詳細はWEBまたは川崎市アートセンターまでお問い合わせください。

お問合せ: 川崎市アートセンター

TEL.044-955-0107 <http://kawasaki-ac.jp>



川崎市アートセンター

アルテリオ映像館



「映画タイムマシン」とは？
映画というタイムマシンに乗って
さまざまな時代を覗いてみようという企画です。
お子さんもご家族とともに楽しめる内容です。

生れてはみたけれど

松竹 | 1932年 | 日本 | 白黒 | スタンダード
サイレント | 1h32監督:小津安二郎
出演:斎藤達雄、吉川満子、坂本武、菅原秀雄

8/9 8/11



お父さんを尊敬していた兄弟は、職場での父親の姿を知ってがっかり。抗議の意思を示す子どもの作戦は成功するのでしょうか?空き地を縦横無尽に駆け回る子どもたちの姿を楽しく描き出した小津安二郎監督のサイレント時代のユーモア溢れる傑作。

♪柳下美恵さんのピアノ演奏つき

手をつなぐ子等

大映 | 1948年 | 日本 | 白黒 | スタンダード
1h26監督:稲垣浩
出演:笠智衆、初山たかし、香川亮介、杉村春子

8/6 8/10



障がい児の寛太は学校の授業についていけません。心配した両親が学校を探し、熱心な先生を見つけました。先生は得意なことができるように工夫をして成功していきます。そこにワルの転校生がやってきて、寛太にひどい意地悪をはじめました。寛太は大丈夫でしょうか!?!時代劇でヒット作を作り続けた稲垣浩監督が子どもを描いた作品です。

まごころ

東宝 | 1939年 | 日本 | 白黒 | スタンダード
1h07監督:成瀬巳喜男
出演:入江たか子、高田稔、村瀬幸子、悦ちゃん

8/7 8/12



父を亡くした富子はお母さんとおばあさんと3人暮らし。親友の信子とは境遇も違うが、学校のなかよしだ。ある日、富子がかつて信子の父と富子の母が恋人同士だと聞かされてびっくりして傷ついてしまう。少女の繊細な気持ちを描いた成瀬巳喜男戦中作品。

★注目ポイント

フィルム上映ってなに？

映画フィルムには主に16mmと35mmがあります。このフィルムに光を当てレンズで大きくしてスクリーンに映します。フィルムはカラーと白黒がありますが、今回はすべて白黒の作品です。また音のないサイレントと音のつくトーキーがありますが、サイレント映画にはピアノの演奏が付きまします。昔の映画館はどんなふうだったのか想像してみてください。

或る終焉

2015年/メキシコ、フランス/カラー/ビスタ
/1h34

製作・監督・脚本:ミシェル・フランコ

出演:ティム・ロス、サラ・サザーランド、
ロビン・パートレット

7/23 8/5

©Lucia Films-Videocine-Stromboli Films-Vamomos Films-2015 ©Credit
photo ©Gregory Smit

デヴィッドは、余命いくばくもない終末患者の在宅看護の専門家。息子の死をきっかけに離婚し、孤独な生活を送る彼は、患者への献身にすべてをかけている。しかし彼が築く患者との親密な関係が、思わぬ事態を招いていく。ティム・ロスの主演・製作による問題作。

裸足の季節

2015年/フランス、トルコ、ドイツ/カラー/シ
ネスコ/1h34

監督・脚本:デニズ・ガムゼ・エルギュヴェン

出演:ギュネシ・シェンソイ、エリット・イシジヤン、
トゥーバ・スングルオウル

7/30 8/12

© 2015 CG CINEMA - VISTAMAR Filmproduktion - UHLANDFILM- Bam Film
- KINOLOGY

舞台はトルコの小さな村。古い慣習と封建的な思想のもと一切の外出を禁じられてしまった美しい5人姉妹。一人また一人と祖母たちが決めた相手と結婚させられていくなか、自由を取り戻すべく、末っ子のラーレはある計画をたてる…。5人姉妹を演じる少女たちの溢れんばかりの存在感が絶賛された話題作!

いしぶみ

2016年/日本/カラー/ビスタ/1h25

監督:是枝裕和

出演:綾瀬はるか、池上彰

8/6 8/19



© 広島テレビ

戦後70周年を機に、『海街 diary』の是枝裕和監督と綾瀬はるかかが再タッグを組み、1969年に広島テレビが制作した原爆ドキュメンタリー「碑」をリメイクした朗読劇。また、ジャーナリストの池上彰が遺族やその関係者へのインタビューを通して、70年を経た現在も終わらない物語の続きを伝える。

好きにならずにいられない

2014年/アイスランド・デンマーク/カラー/
シネスコ/1h34

監督・脚本:ダーグル・カウリ

出演:グンナル・ヨンソン、リムル・クリスチャンス
ドゥッティル

8/6 8/19



© Rasmus Videbæk

アイスランドに住む43歳独身・オタク・女性経験ナシ・シャイで純情な大男、フーシ。自分にコンプレックスを持ち、外の世界に飛び込む勇気を持たなかった彼が、恋した女性を守りたい一心で、知らず知らずのうちに自分の殻を破り、新しい世界に飛び込んでゆく。とびきりチャーミングでちょっぴり切ない心揺さぶるオフビート・ロマンス!

[日曜最終回および月曜休映(祝日の場合は翌日に振替)]

教授のおかしな妄想殺人

2015年/アメリカ/カラー/シネスコ/1h35

監督・脚本:ウディ・アレン

出演:ホアキン・フェニックス、エマ・ストーン、
バーカー・ボージー、ジェイミー・ブラックリー

7/23 8/5



Photo by Sabrina Lantos © 2015 GRAVIER PRODUCTIONS, INC.

危険な魅力をふりまく大学教授が妄想した完全犯罪の顛末を描く、ウディ・アレンの新作。無気力な生活を送る哲学教授エイブは、ある日、正義のための完全犯罪のプランが閃き、たちまち気力充実。彼に恋心を抱く美人女子大生を巻き込んでいくスリラー・コメディ。

さどにきたらええやん

2015年/日本/カラー/ビスタ/1h40

監督・撮影:重江良樹

音楽:SHINGO★西成

出演:「NPO法人こどもの里」のスタッフとこども
たち

7/30 8/12



© さどにきたらええやん All Rights Reserved.

“日雇い労働者の街”釜ヶ崎に38年間続く、子どもたちの集いの場「こどもの里」に長期取材したドキュメンタリー。放課後の子どもたちの遊び場としてスタートし、緊急一時保護など様々なニーズに応えてきたこの児童施設は、子どもたちの笑顔と歓声にあふれている。

緑はよみがえる

2014年/イタリア/カラー/ビスタ/1h16

監督:エルマンノ・オルミ

出演:クラウドイオ・サンタマリア、アレッサンドロ
・スベルドゥッティ

8/13 8/26



1917年、冬。第一次世界大戦下のイタリア・アルプス、アジアーゴ高原を舞台に、何も知らないままに戦地に送り込まれた若者たちの痛みと哀しみを描いたドラマ。イタリアの名匠エルマンノ・オルミ監督が80歳を過ぎて、自らの父に捧げた特別な物語。

ミラクル・ニール

2015年/イギリス/カラー/シネスコ/1h25

監督:テリー・ジョーンズ

出演:サイモン・ベッグ、ケイト・ベッキンセール、
ロビン・ウィリアムズ

8/13 8/26



© 2015 Anything Absolutely Ltd All Rights Reserved

宇宙人のきまぐれによってミラクル・パワーを授けられ、地球の運命を託された中年男・ニールと愛犬・デニスの奮闘を描く。愛犬・デニスの声を担当し、最後の出演作となったロビン・ウィリアムズをはじめ、コメディ界のレジェンドによるシュールで愛おしい英国コメディ!

毎月

第三火曜日

のお楽しみ

2016

納涼

ラゾーナ寄席

ラゾーナ寄席

8月16日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出演…神田 紫(講談)・桂米多朗・桂 翔丸・春風亭かん橋

■入場料…全席自由2,000円(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



神田 紫

第108回 川崎市定期能

能と狂言

◆平成28年8月6日(土)

◆会場:川崎能楽堂

◆入場料:各部 4,000円(全席指定)

第一部

12時30分開場 13時00分開演

狂言

佐渡狐

【さどぎつね】

山本 則俊(大蔵流)

能

六浦

【むつら】

香川 靖嗣(喜多流)



能 六浦 香川靖嗣

狂言

佐渡狐【さどぎつね】

佐渡の国と越後の国の百姓が年貢を納めに都へ行く途中、道連れになります。越後の百姓は佐渡には狐がいまいだらうと言ひ、佐渡の百姓は狐を見たことがないので姿態がわかりません。都の領主の館に着くと、佐渡の百姓は奏者(取次役)に年貢を納めるついでに事情を話し、賄賂を贈ります。みかえりに奏者は、佐渡の百姓に細かく狐の姿を教えます。あとからきた越後の男が佐渡の男に狐に関する質問をすると、佐渡の男は奏者の助けで賭けに勝ち刀を取って去りますが……。

能

六浦【むつら】

秋の季節、都の僧(ワキ)が東国行脚の途中、相模国の六浦に着き、称名寺に立ち寄ることにします。山々の紅葉が盛り、本堂の庭にある一本の立派な楓だけが、一葉も紅葉していません。不審に思っている、一人の女(前シテ)が現われます。この楓のことを尋ねると、そのわけを語って聞かせます。昔、鎌倉の中納言為相がこの寺に紅葉を見に来たとき、山々の木はまだ紅葉していないのに、この木一本だけが色濃く紅葉していたので、一首の詩を詠じたところ、楓の木はそれを名誉として身を退くこととし、その後紅葉することをやめたのだと語り、その女は自分がこの楓の精であると告げ消え失せます。(中入)

その夜、僧が読経していると、楓の精(後シテ)が現われ、草木国土悉皆成仏の仏徳を讃え、舞を舞います。そして、夜明けとともに消えてゆきます。

◆チケット好評発売中 ◆第2部のチケットは完売いたしました。 ◆チケット取扱・お問合わせ／川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37

◆受付時間／窓口・電話 9:00~17:00

主催:(公財)川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.044-222-8821/FAX.044-222-8817

*開演後にご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

公益財団法人 川崎市文化財団

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817
E-mail k-bunkazaidan@nifty.com
平成28年8月1日発行

川崎市文化財団

検索

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL.044-542-2311